

NEXT

55



みんなの力で、みんなの幸せを

SAWARABI

さわらび

1 表紙 書道クラブ～障害福祉サービス事業所 すみれ～

2 医学講話 認々夫婦から見える認知症の問題点
◆福祉村病院 外来診療部長／日本神経学会専門医
日本内科学会認定医／日本認知症学会専門医
認知症サポート医／愛知県公安委員会認知症認定医 継 泰城

6 特集 さわらびグループ職員研究発表会のあゆみ

2022
vol.586

2



医学講話

福祉村病院 外来診療部長
日本神経学会専門医
日本内科学会認定医
日本認知症学会専門医
認知症サポート医
愛知県公安委員会認知症認定医

継 泰城



認知症の問題点

はじめに

認知症とは、ともに認知症である夫婦のことです。高齢化、核家族化が進むにつれて、高齢者が高齢の配偶者を介護する老々介護とともに、認知症夫婦、認知症も増えてきました。今回お話しするのはある認知症夫婦の家庭です。二人暮らしで、娘や息子は離れて住んでいます。

妻の診察

「去年から物をどこに置いたか忘れる。ひどくなった」と妻が不安を訴え、夫と一緒に受診されました。夫に聞くと「二年前から物忘れが激しい。探しものが多く、物が無くなると夫のせいにする(物盗られ妄想)。少し

認知症の自覚

怒りっぽくなった。夜帰宅する時に道に迷う。動作が鈍くなった。大きな寝言をいう(レム睡眠行動異常)と話され、認知症の症状が見られます。記憶力などを見る認知機能検査では、表のようにADAS-Jcog、Reyの複雑図形、FABにおいて明らかな認知機能低下を認めます。シミのようなものが人の顔に見える「錯視」も見られます。精査を行い、レビー小体型認知症と診断しました。

物忘れで非常に困ったとか、失敗したことはありませんかと妻に尋ねると、物忘れで来院したのに「そんなに困ったことはない」と、妻は病識がありません。夫は妻のおかしい点に気づ

夫の診察

夫自身は「物忘れをする時はあるが、困ることはない」と言われ、病識がありません。妻は「二年前から大事な話ができない。朝から晩まで酒が飲みたいと言う。近所に聞こえるくらい大声で怒る。日付や曜日の忘れがある。大きな寝言を言う。動作が鈍くなった」という。認知症の妻も夫のおかしい点に気づいています。認知機能検査では明らかな認知機能低下を認めます(表)。また、錯視も見られます。精査を進め、夫もレビー小体型認知症と診断しました。認知機能検査から見ると、妻の方が夫よりもやや悪い印象です。

非同居の家族の理解

夫婦ともに認知症であることを娘に伝えるも、娘は「二人で生活できて

いるし、そんなに悪くはない」と言われ、「これからもまだ二人で暮らせる」と思っています。時に会うだけで一緒に生活をしていない家族は認知症に気づき難いものです。認知症の人も、たまに娘が帰って来た時は一生懸命気遣って頑張りますので、おかしいとは思われません。

妻と夫の認知機能検査

	ADAS-Jcog	Reyの複雑図形			FAB
		複写	即時再生	遅延再生	
正常	0~9点	100~88%	100~44%	100~44%	18~12点
妻	21点	97.2%	23.6%	0%	10点
夫	18点	83.3%	25%	25%	11点

注: ADAS-Jcog: 全般的な認知機能の検査(10点以上で認知症)
Reyの複雑図形: 視覚認知機能の検査(複写88%未満、再生44%未満で異常)
FAB: 注意遂行機能の検査(11点以下で異常)
(表)

経過

夫婦ともに同じ抗認知症薬で治療を開始しました。三年経過すると、図1のように妻の認知機能はADAS-Jcog1二十一点から十三点まで改善しました。一方、夫の認知機能は、一年後、ADASJcog 十八点から十七点にやや改善が見られるも、二年後には二十五点と急激に悪化が見られ、抗認知症薬を増量せざるを得ませんでした。しかし、三年後の改善もあまり見られず、妻との差は著しくなりました。そんな折、夫の薬が三か月分残っているのを娘が見つけた。きちんと服薬できていなかったため、認知機能が悪化したようです。娘はいつも電話で薬を飲むように言っているのを飲んでいるだろうと思っていたため、驚いたそうです。また、妻も自分の薬は飲めても、夫の薬の服用を見守るまでではできません。

認々夫婦、認々介護の問題点

第一に、認々夫婦の場合は、認知症の早期発見が難しくなります。病識の無い認知症同士では認知症に気づいてくれる人が居ません。本人達は

相手のおかしな点に気づきませんが、それを病気と判断し対応することができません。非同居の家族は一般に同居の家族よりも認知症に気づくことができません。ある事例では、同居の嫁が認知症の義父の暴言や妄想で非常に困っているのに、非同居の娘は「嫁が大げさに騒いでいる」と言っており、認知症に気づいてもらえません。また、夫婦の一方が認知症と判明しても、もう一方も認知症とまでなかなか気づいてもらえません。

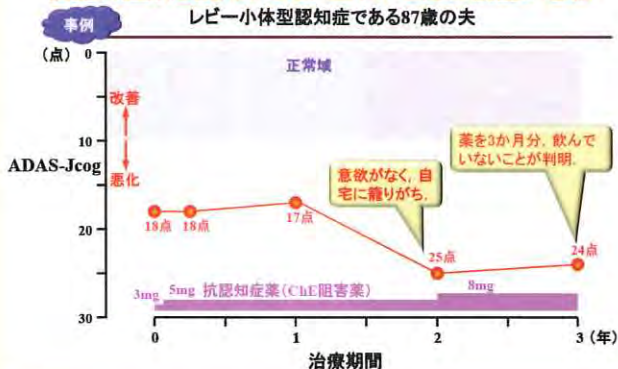
第二に、認知症の場合は早期から内服管理ができません。どんな良い薬でも飲まないという意味があります。通常、薬箱を利用して家族が薬をセットし、そこから自分で順番に薬を取ってもらいます。それとできない場合はその都度手渡しすることになります。認々介護ではそのどちらもできません。ある認々夫婦が息子夫婦と二世帯住宅に住んでいて、嫁が毎日薬を手渡ししたのに、全く飲んでなかったことが後で判明した事例もありました。また、互いに配偶者の健康管理もできません。食事の食べ具合はどうか、熱があるのか、怪我をしてないかを判断し対応することができません。ある認々夫婦で、妻が食事を摂れずに脱水で倒れるまで、夫が

放置していた事例もありました。第三に、認知症の人は相手の心を理解し対応することができません。互いが常に自分は正しいと言い張るので、言い争いや暴言・暴力に発展します。この夫婦は、徐々に夫の言動に妻はいらいらし、夫も暴言がひどくなりました。妻は「夫が金を隠している、夫と早く別れたい」と娘に訴えます。「喧嘩ばかりして、どうかなりそう」と娘も心配します。夫婦の生活が破綻すると、同時に認知症も急激に進行してゆきます。

おわりに

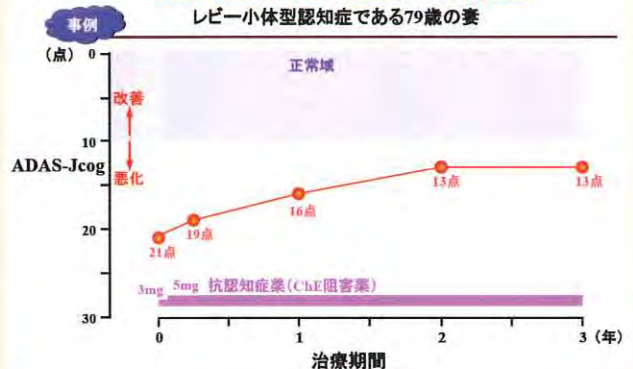
当初から家族には認々夫婦の二人暮らしは難しいと話しています。何とか在宅で見ようとすれば、できるだけ多くの支援を入れる必要があります。しかし、互いが相手を理解できないために、いずれは暴言・暴力などが出現し生活を維持できなくなります。夫婦の一方あるいは両方を施設に入所させる方が落ち着いて過ごすことができると思います。老々介護よりも認々介護の方が遥かに難しい問題を含んでおり、十分な理解が望まれます。

抗認知症薬を使用するも、途中から認知機能が悪化



(図2)

抗認知症薬で認知機能が3年間改善



(図1)

兼坂 岳志
橋詰 良夫

神経病理研究所の活動報告

本稿では最近の神経病理研究所の活動報告を行います。研究所の主要業務である病理解剖と臨床病理検討会について述べます。

◆病理解剖(剖検)

福祉村病院ではご遺族の許可をいただき、令和三年は三十七人の病理解剖をさせていただきました。病理解剖とは一人の病気をもった人間の体がすみずみまで医学に開放される人生最後の唯一の機会であります。どんなに医学が進歩しても、疾病により治療の効なく亡くなる患者さんがある限り、病理解剖の重要性は昔も今も変わるものではありません。病理解剖とは、病気のために亡くな

られた患者さんのご遺体を解剖し、臓器、組織、細胞を直接観察して詳しい医学的検討を行うことです。これによってきわめて精度の高い病理診断ができ、死因を正しく理解し、治療の適切性についても検討することができます。ご遺族にとっては、その患者さんがなぜ亡くなったのか、生前はどのような状態であったのかを詳しく知ることができ、身近な人を亡くしたことを受け入れる助けになるでしょう。医療従事者にとっては、病理解剖を通して、患者さんが亡くなった原因や生前の病気の状態が明らかになり、診断の妥当性や治療効果を詳しく検証できます。このことは、

同じ様な病気の患者さんによりよい医療を提供するために大変役立ちます。また、病理解剖によって、生前には見つかっていなかった疾患や未知の疾患についての重要な情報を得られる可能性もあります。数多くの患者さんの病理解剖から得られた結果を解析することで、その知見はより一般的なものになります。死因の正確な統計や疾患についての傾向を把握することは、疾患の原因解明や予防についての重要な情報となります。

◆臨床病理検討会

す。歴史的に病理解剖は新しい疾患の発見、病気の病因の究明、臨床症状の正確な理解、画像の読影に重要な役割を果たしてきました。このように、病理解剖は人生最後の最も精密で確実な病気の診断で、最後の社会貢献です。

福祉村病院では毎月二例ないし三例の症例について臨床病理検討会を実施しています。最初に患者さんの臨床経過が提示され、その後、脳CTやMRIの所見がパワーポイントで示されます。画像については放射線専門医による解説が行われます。臨床所見の提示後、参加者間のディスカッションが行われ、続いて病理所見である肉眼所見、組織所見が提示され、最終的な病理診断が示されます。コロナ禍の中で、Zoomによるオンラインで配信されるようになり、東京、大阪、名古屋、三重、岡山など、各地の先生方が参加されており、最新の認知症疾患の病態について検討会が行われています。この検討会は十年以上、毎月休みなく続けられており、認知症の理解に重要な役割を果たしています。検討会が終了後、

ご遺族には病理診断結果を文章にして報告をしています。二〇二〇年には三十六例について検討が行われ、アルツハイマー病十例をはじめとしてレビー小体型認知症や前頭側頭葉変性症など貴重な症例の検討が行われました。写真は検討会の会場と病理標本スライドです。



病理標本スライド



臨床病理検討会

災害時における要配慮者の 受け入れ訓練を行いました ～特別養護老人ホーム 第二さわらび荘～



12月14日に、豪雨によって近くの梅田川が氾濫したという想定で、要介護4の方の施設での受け入れ及び車いすを利用されている方の受け入れ訓練を豊橋市と共同で実施いたしました。

市内には他にもこの協定を結んでいる法人がありますが、さわらび会には多くの受入協定締結施設があるため豊橋市から依頼がありました。

訓練では様式を使用したFAXでの情報伝達や、豊橋市役所と第二さわらび荘の玄関先をテレビ電話で繋ぎ、受け入れ希望者の情報のやり取りや、受け入れに伴う指示の確認などを行いました。この訓練で実際に受け入れを行う際にどのように動けばいいのかが明確になりました。

昨今の異常気象の発生状況を考えると、災害時の動きをしっかりと訓練しておくことは大変重要です。常日頃から施設に入所されている利用者の皆様の安全確保への意識をしっかりと持つと同時に、地域の方の健康や命を守るといことも念頭におき、業務を行ってまいりたいと思います。

(東郡)

災害時における要配慮者の受入協定とは

地震・風水害などの大規模災害が発生した場合に、指定避難所等での避難生活が困難な高齢者・障がい者などの方々の避難施設として、民間社会福祉施設が豊橋市と受入協定を締結しています。

特集

さわらびグループ 職員研究発表会のあゆみ

さわらびグループ職員研究発表会は、平成二十五年十二月に開かれた第一回から二〇一九年十月まで、十一回におよびます。開催の経緯や歴史、活動内容など、これまでを振り返り、ご紹介します。

年表

二〇一三年六月(平成二十五年)

●後のさわらびグループ職員研究発表会に繋がる計画案が施設長会議(現経営企画会議)にて提案される。

二〇一三年十二月

●第一回職員研究発表会開催。五つの取り組みについて発表が行われた。最初期のことであり各賞や選考方法については明文化されておらず、全発表が最優秀賞となる。

二〇一四年十二月(平成二十六年)

●第二回職員研究発表会開催。各賞や選考方法等について開催要綱に提示される。

二〇一五年八月(平成二十七年)

●第三回職員研究発表会開催。最優秀賞については医療法人・社会福祉法人各一点となり選考については投票方法が一部変更となる。次年度より四月と十月の年二回開催となること決定される。

二〇一六年四月(平成二十八年)

●第四回職員研究発表会開催。



▲発表会の後には集合写真を撮影(第11回)

はじめに

平成二十五年十二月に初めて開催されたさわらびグループ職員研究発表会は、医療法人・社会福祉法人さわらび会で働く職員が日々の業務でこ

利用者様に対してより良いサービスを行うために必要な事柄を拾い上げ、改善策について発表しています。新型コロナウイルス感染症の影響で令和二年度からは延期となりましたがそれ以前は毎年開催され多くの職員が研究に取り組んでいました。

審査

審査員は当初、理事長、専務理事、CEOの三名。第七回以降は外部審査員二名が加わり、会場参加者の投票結果をもとに、審査員が決めます。

最優秀賞は、医療法人、社会福祉法人各一点。副賞として賞金三万円に加え、インド福祉村での研修、ボランティア活動に派遣されます。優秀賞は両法人各一点、副賞賞金二万円。



▲アーナンダ病院前での集合写真

他にも奨励賞が贈られます。いずれの入賞者にも次年度の介護甲子園などで研究発表の機会が与えられます。

インド福祉村ボランティア活動報告

職員研究発表会最優秀賞受賞者で他国の医療福祉について見聞を深めたいと希望する者はインド福祉村でのボランティア活動に派遣されます。

【ボランティア活動メンバー】

白井秀明(さわらび地域包括支援センター/第一回)
鈴木あきよ(第二さわらび荘/第三回)

船藤悠太(福祉村病院/第六回)

浦野いず美(あかね荘/第七回)

【場所】

ウツタールプラデーシユ州クシナガラ／
インド福祉村病院(現地名:アーナンダ病院)

【ボランティア活動日程】

二〇一八年五月十九日(土)

●フライトの関係で前泊

同二十日(日)

●日本出発〜インド(デリー)到着

同二十二日(月)

●デリー出発〜インド福祉村病院到着

●到着後グプタ医師より院内の説明を受ける

同二十二日(火)

●インド福祉村病院周辺村落訪問

同二十三日(水)

●グプタ医師の診療風景見学

同二十四日(木)

●来院する子どもに折り紙や新聞紙で作った兜をプレゼント

同二十五日(金)

●インド福祉村病院出発

同二十六日(土)

●日本到着

研究の実際

●第一回最優秀賞

さわらび地域包括支援センター
主任介護支援専門員

白井秀明

【テーマ】

「独居でも安心して生活できる
地域づくり推進会議
〜県営金田住宅での取り組み〜」

【テーマ選定の理由】

六十五歳以上の高齢者の独居世帯の増加に伴い、「孤独死」という言葉がクローズアップされるようになり、その背景には以下のことを実感しました。

① 高齢化の進展と核家族の増加(独居予備軍の増加)

② 近隣との関係の希薄化

③ 長期不況などによる経済的な問題

さわらび地域包括支援センターの担当圏域の中に県営金田住宅があります。当時の自治会長などと話をしていく中で、自治会としても孤独死や自殺などの問題を何とかしていきたいと思っているとのことでした。

【実際の取組】

自治会、民生委員、見守りボランティア、住宅公社、行政、警察、新聞配

達店など金田住宅に関わる関係者が一堂に集い、情報共有や役割分担などを通じて顔の見える関係づくりを継続的に構築していきました。

【効果】

関係者で協働・連携することで、困難ケースなどにより早い段階から関わりを持つことができるようになり、予防的な効果が高まりました。この研究のきっかけとなった自死は、これまでのところゼロとなっています。

(白井)



▲研究成果を発表する白井主任介護支援専門員(第1回)

二〇一六年十月

●第五回職員研究発表会開催。

研究テーマについて「ご利用者自身の活動など」が追加される。

二〇一七年四月(平成二十九年)

●第六回職員研究発表会開催。

二〇一七年十月

●第七回職員研究発表会開催。この回より外部審査員二名依頼。

以後も継続して依頼。

二〇一八年四月(平成三十年)

●第八回職員研究発表会開催。

二〇一八年十月

●第九回職員研究発表会開催。

二〇一九年四月(平成三十一年)

●第十回記念職員研究発表会を事業戦略発表会と同時開催(会場:PLAT)

●過去最優秀賞の四グループのその後の実践も踏まえた発表及びインド福祉村ボランティア活動報告。

二〇一九年十月(令和元年)

●第十一回職員研究発表会開催。

二〇二〇年四月(令和二年)

●第十二回職員研究発表会新型コロナウイルス感染症により延期。

●第十二回職員研究発表会新型コロナウイルス感染症により延期。

これまでの職員研究発表会の研究内容と受賞者

▼平成25年12月24日 さわらびグループ 第1回職員研究発表会

No.	職 種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備 考
1	主任介護支援専門員	白井秀明	さわらび地域包括支援センター	独居でも安心して生活できる地域づくり推進会議～県営金田住宅での取り組み～	最優秀賞
2	看護師 看護師	大塚和美 石原恵理子	福祉村病院 看護部	皮膚乾燥がみられる患者様への保湿剤の研究とスキンケアに取り組んで	最優秀賞
3	介護士 介護士	白井内海 松原 孝	第二さわらび荘	じぶんの力でじぶんの生活を～介護力向上講習会での取り組みを通して～	最優秀賞
4	作業療法士 臨床心理士	加藤智太 金沢歩美	福祉村病院認知症リハビリプロジェクトチーム	認知症リハビリの取り組み	最優秀賞
5	相談員 サービス提供責任者 主任支援員	玉城琴子 金田精子 高橋奈奈	珠藻荘障害者支援センター 障害者居宅介護事業所しらがね あかね荘・あかね荘共同生活介護	さわらび会の連携による、重度知的障害者の安定した生活の実現にむけての取り組み	最優秀賞

▼平成26年12月4日 さわらびグループ 第2回職員研究発表会

No.	職 種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備 考
1	理学療法士 事務員	鳥居浩平 平野貴幸	しらがね	浮腫がみられる利用者に対しての間欠的空気圧迫法の実践	奨励賞
2	作業療法士 理学療法士	市川由佳 鈴木啓太郎	福祉村病院 リハビリテーション部	認知症リハビリプロジェクト「音楽」の取り組みについて	奨励賞
3	介護支援専門員 介護士	高木秀之 伊藤美佐子	グループホーム 常盤	グループホーム常盤での実践報告「小さな音楽会～仲間・家族と共に～」	奨励賞
4	看護師 看護師	鈴木智美 菅根由美子	福祉村病院 1病棟1階	気管切開離脱に向けての看護的援助の取り組みと他職種との連携	審査員特別賞
5	サービス管理責任者 サービス提供責任者	末松秀章 林 稔雄	明日香	引きこもりになった知的障がい者への支援について	奨励賞
6	看護師 看護師	竹田昌代 伊藤久美子	福祉村病院 2病棟3階	暴力・大声のある患者様の観察にひもときシートの使用を試みて	奨励賞
7	介護士 介護士	河合彩佳 大原崇弥	グループホーム 白珠	心ふれあう ぬくもりつたわる はじける笑顔の 白珠です～自慢の家族会を紹介しまし～	優秀賞
8	看護師	石田美穂	福祉村病院 訪問看護	在宅ケア活動における「連携」の意義と今後の課題	奨励賞
9	生活支援員	鳥居浩平	珠藻荘	高齢者施設への移行について	優秀賞
10	介護士	鎌子往奈	ジュゲム	ケア・メソッドへの取り組み～あなたらしさを取り戻して頂くために～	審査員特別賞
11	管理栄養士	黒柳啓子	第二さわらび荘	腸内環境を整える一つの試み	最優秀賞

▼平成27年8月19日 さわらびグループ 第3回職員研究発表会

No.	職 種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備 考
1	理学療法士 生活支援員	宮下賢也 山田忠由	しらがね	Quality of Life ～リハビリを重んじ意欲を増す～	奨励賞
2	介護士長	石田喜則	珠藻荘	臭い対策	奨励賞
3	介護士 介護士	島本晴子 大原崇弥	グループホーム 白珠	当施設におけるキャリア段位制度の取り組み～水分補給量に着目して～	優秀賞
4	管理者	若見和成	グループホーム カサ デ ヴェルデ	集団レクリエーションによる生活のQOLの向上	奨励賞
5	ユニットリーダー 看護師長	西崎弘雅 鈴木あきよ	第二さわらび荘	看取り介護への取り組み 第二さわらび荘での17例の事例について	最優秀賞
6	介護士	荻野みな子	福祉村病院 2病棟2階	リハビリで歩行訓練を行っている患者様の身体機能・認知機能の維持向上への取り組み	優秀賞
7	介護士	柴田洋年	ジュゲム	スピーチロック廃止に向けて	最優秀賞

▼平成28年4月7日 さわらびグループ 第4回職員研究発表会

No.	職 種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備 考
1	介護士 生活相談員	小久保雄司 渡邊憲博	さわらび荘	口腔ケアで健康管理～慣れた施設で健康に暮らせるには～	奨励賞
2	介護士	芝原雄一郎	珠藻荘	口で描く夢のある絵	奨励賞
3	管理栄養士	和合倫位	カサ ブランカ	経口摂取維持への取り組み	最優秀賞
4	生活支援員 生活支援員	林 香予子 浦野いず美	あかね荘	免疫力向上への取り組み～1073R-1乳酸菌の期待と効果	奨励賞
5	介護士 生活相談員	後藤崇之 塩見直己	天伯	リスクマネジメントを考える～介護業務日誌の記入漏れをなくせ！～	優秀賞
6	看護師	柳下町勝郎	福祉村病院	退院支援コア委員会の活動報告	優秀賞
7	看護師 看護師	廣田 瞳 宮脇千鶴子	福祉村病院	認知症による吸吸行為を行う患者様への取り組みについて	最優秀賞
8	理学療法士 臨床心理士	廣瀬正明 金沢歩美	福祉村病院	福祉村病院における認知症リハビリプロジェクト「木工」の取り組みについて	奨励賞

▼平成28年10月20日 さわらびグループ 第5回職員研究発表会

No.	職 種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備 考
1	介護士	夏目志朗	ジュゲム	活動意欲は職員から～やってみようはやってない～	奨励賞
2	介護士 介護士	大橋美香 城 里奈	福祉村病院	若年性パーキンソン病進行中の患者様の転倒予防への取り組み	奨励賞
3	臨床心理士 臨床心理士	藤井 崇 金沢歩美	福祉村病院	福祉村病院における認知症リハビリプロジェクト「紙漉き」の取り組みについて	優秀賞
4	看護師長	八木聖名子	福祉村病院	認知症リハビリプロジェクト「移動喫茶店」における香りがもたらす情緒安定の効果について	最優秀賞
5	管理者	若見和成	グループホーム カサ デ ヴェルデ	施設で穏やかに過ごして頂く為に	奨励賞
6	介護士 介護士	加藤聡一 鈴木紫歩	若菜荘	知的障害者の豊かな暮らしづくり	優秀賞
7	サービス管理責任者 サービス管理責任者	末松秀章 藤井葉子	明日香	大規模災害に備えて～福祉避難所体験から見えたこと～	最優秀賞
8	介護士 介護支援専門員	三浦悦夫 小久保由紀子	天伯	嚥下障害のある方の食事ケアについて	奨励賞
9	理学療法士 生活支援員	鳥居浩平 住吉 学	しらがね	着衣困難な利用者様への対応	奨励賞
10	介護士 生活相談員補助	奈良田千賀 日和田規子	常盤デイサービス	認知症デイサービスにおけるレクリエーションの効果	奨励賞
11	介護士 看護師	遠山寛之 三ツ井真紀	カサ ブランカ	機能訓練の取り組み	奨励賞

▼平成29年4月25日 さわらびグループ 第6回職員研究発表会

No.	職種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備考
1	看護師 看護師	中神利恵子 藤城鈴子	福祉村病院 1病棟2階(現1病棟3階主任)	身体拘束ゼロを目指しての取り組み	奨励賞
2	作業療法士 理学療法士	船藤悠太 三川基樹	福祉村病院 リハビリテーション部	重度パーキンソン病患者の予後を見据えたりハビリ介入～ADL/QOLともに改善した一症例～	最優秀賞
3	認知症ケア専門士 認知症ケア専門士	小林 樹 安達 薫	福祉村病院 看護部 医療福祉相談課	福祉村病院における認知症の方のターミナルケアの取り組みについて	優秀賞
4	介護士	村木大介	珠藻荘	誤薬ゼロへの挑戦	奨励賞
5	EPA介護福祉士候補生 EPA介護福祉士候補生 EPA介護福祉士候補生	トアン チャン イズニ	第二さわらび荘	笑顔から始める・コミュニケーション	優秀賞
6	介護士	片山謙志郎 三浦雅大	第二さわらび荘	ADL向上に向けて～ご利用者様の楽しめる時間～	奨励賞
7	管理者	白井有喜子	白珠	白珠・運営推進会議～地域と共に、未来に向かって～	奨励賞
8	管理栄養士 栄養士	松下裕美 渡邊絵美	常盤	ソフト食導入に向けて～見た目にも美味しい食事を～	優秀賞

▼平成29年10月31日 さわらびグループ 第7回職員研究発表会

No.	職種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備考
1	看護師 薬剤師	尾崎理香 石黒那月	福祉村病院 褥瘡委員会	褥瘡発生「ゼロ」を目指して ～褥瘡委員会の取り組み～	最優秀賞
2	理学療法士	西村公彦	ジョゲム	私が認知症になっても 地域包括ケアシステムにおけるデイケアでの事例	奨励賞
3	作業療法士	村上佳範	福祉村病院	認知症リハビリプロジェクト「農作」の取り組み	優秀賞
4	介護士 介護士	山本翔太 上村みつ江	福祉村病院 2病棟4階	誤薬・与薬ミス0件を目指して	奨励賞
5	管理栄養士 管理栄養士	坂神亨一 新井美香	さわらび荘	食事の満足度からQOL向上を目指した取り組み	優秀賞
6	介護士 介護士	三浦悦夫 淵園里美	天伯	特養における褥瘡改善に向けてのケア～元気だった頃の笑顔を取り戻したい～	奨励賞
7	生活支援員 理学療法士	山田智代 宮下賢也	しろがね	社会参加と社会資源の利用	奨励賞
8	介護支援専門員 管理栄養士	河合昭徳 伊藤志帆	カサ デ ヴェルデ	退院後の食事支援 自立摂取に向けた取り組み	奨励賞
9	看護師 介護士	田中郁江 山下真由美	若菜荘	多様化・複雑化している利用者のニーズ対応 高齢知的障害者の豊かな暮らしづくり	奨励賞
10	支援員 支援員	杉山誠生 新井海人	あかね荘	あかね荘食生活改善委員会の取組み ～40代ダウン症男性の誤嚥性肺炎の再発予防の取組みを通じて～	最優秀賞

▼平成30年4月16日 さわらびグループ 第8回職員研究発表会

No.	職種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備考
1	看護師 看護師	大石永味 楠 美紗	福祉村病院	気管切開されている患者様の在宅に向けての取り組み	優秀賞
2	理学療法士 作業療法士	川村基樹 船藤悠太	福祉村病院 リハビリテーション部	進行性核上性麻痺の1症例 転倒原因の分析と対策	優秀賞
3	介護士 介護士	村田 淳 中神往奈	福祉村病院 2病棟2階	下剤連続投与をなくし自然排便を目指して 患者様の笑顔につながる穏やかな入院生活の提供	最優秀賞
4	理学療法士 生活支援員	鳥居浩平 安形光代	しろがね	嚥下障害のある方へのリハビリと日々の取組み	奨励賞
5	主任介護支援専門員 介護支援専門員	日下部澄美子 伴 茜	さわらび居宅	資質向上への取り組み～ケアマネジメント実践力の向上～	奨励賞
6	調理員 調理員	広山恵里 北河増那	第二さわらび荘	安全でおいしい食事の提供に向けて～ソフト食への取り組み～	優秀賞
7	生活支援員 サービス管理責任者	市川千春 安田葉子	明日香	重度知的障がいの方への支援～脱マンツーマン対応を目指して～	奨励賞
8	介護士 介護士	日比野夕織 石井恵里	カサ ブランカ	生活を楽しく過ごしていただくために	最優秀賞
9	介護士 事務員	鈴木康平 瀧崎智弘	フェリス福祉村	若年性認知症の利用者様への取組み	優秀賞

▼平成30年10月30日 さわらびグループ 第9回職員研究発表会

No.	職種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備考
1	栄養管理部	根之本俊二	福祉村病院 栄養管理部	離水しにくいお粥の探求～お粥の出来上がりの再現性を図る～	優秀賞
2	作業療法士	吉田恭子	福祉村病院 リハビリテーション部	認知症プロジェクト 革細工での取り組み～作品を通して家族との交流機会が増えた症例～	奨励賞
3	EPA看護師 EPA看護師 EPA看護師	ジェリントンラス カタケイ(アール)リ バーナード・アザルン	福祉村病院 看護部	EPA看護師の貢献と今後の課題	最優秀賞
4	管理者	中坪佐代美	グループホーム 常盤	オレンジカフェときわの取り組み～地域の皆様と共に～	奨励賞
5	介護士 介護士	中木政子 松原 孝	天伯	嚥下障害がある方の経口摂取改善への取り組み	奨励賞
6	理学療法士 介護士	廣瀬正明 中尾麻希	珠藻荘	身体活動量に影響を与える因子の検討とリハビリの役割	奨励賞
7	介護支援専門員 管理者	高橋充代 若見和成	グループホーム カサ デ ヴェルデ	生きがいのある生活～今できる事をし、楽しんで生活する～	優秀賞
8	管理者 介護士	山本雅雄 大原崇弥	グループホーム 白珠	帰宅願望を改善する取組み～安心して白珠で生活して頂く為に～	奨励賞
9	相談支援専門員	石川正敏	あかね荘	障がいを持つ親にとつての8050(はちまるごうまる)問題	奨励賞
10	介護士 管理者	大久保信江 白井有喜子	グループホーム フジ	居心地のよい、楽しい住処となる為に～入居者様の気持ちに寄り添える介護士に～	最優秀賞

▼平成31年4月13日 さわらびグループ 第10回記念職員研究発表会

No.	職種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備考
1	主任介護支援専門員	白井 秀明	さわらび地域包括支援センター	独居でも安心して生活できる地域づくり推進会議～県営金田住宅での取組み～	第1回 最優秀
2	看護師	鈴木あきよ	第二さわらび荘	看取り介護への取組み 第二さわらび荘での43例の事例について	第3回 最優秀
3	作業療法士	船藤悠太	福祉村病院 リハビリテーション部	重度パーキンソン病患者の予後を見据えたりハビリ介入～ADL・QOL共に改善した一症例～	第6回 最優秀
4	生活支援員	浦野いず美	あかね荘	あかね荘食生活改善への取組み 40代ダウン症男性の誤嚥性肺炎の再発予防の取組みを通じて	第7回 最優秀

▼令和元年10月17日 さわらびグループ 第11回職員研究発表会

No.	職種	発表者氏名	施設・部署	発表テーマ	備考
1	看護師 看護師	加藤理恵 竹島樹里	福祉村病院 看護部1-1階	入浴前の泡浴実施の取り組み～泡浴の効果～	優秀賞
2	看護師 看護師	吉原真三子 ジェネリン	福祉村病院 看護部1-3階	自宅退院に向けての退院支援を振り返って	優秀賞
3	作業療法士	船藤悠太	福祉村病院 リハビリテーション部	認知症リハビリプロジェクト「野球・卓球」の取り組み	最優秀賞
4	生活支援員 生活支援員	小寺莉莉可 大谷孝広	あかね荘	業務改善「障がいのある職員と協力して働く」	奨励賞
5	介護士 介護士	後藤日歌里 萩原幹樹	第二さわらび荘	生活スタイル改善 その先へ	優秀賞
6	介護支援専門員	河合昭徳	カサ デ ヴェルデ・特養	小規模特養による地域との関わり	奨励賞
7	介護士 介護支援専門員	青木晴美 宮崎真理子	さわらび荘	みんなの幸せの実現～職員の職場環境整備の視点から～	最優秀賞
8	生活支援員 サービス管理責任者	藤井友毅 安田葉子	明日香	知的障がい者を抱えての8050問題	奨励賞
9	看護師	大谷方里子	カサ ブランカ	座位姿勢の改善への取り組み	奨励賞
10	管理者 介護士	島本晴子 小林裕子	グループホーム 白珠	認知症になっても頑張ってます	優秀賞

働きやすい職場作りを目指して

〈特別養護老人ホーム さわらび荘〉

十一月、全職員を対象とした腰痛に関するアンケートを行い、85.2%の職員が少なからず腰痛を感じているという結果になりました。

すぐに実施できる改善取り組み事項として、就業前のラジオ体操を実施。夜勤中に限りホットパットの使用を許可して、冷えによる腰痛を改善すること、また「移座えもんシート」などの福祉用具を正しく活用できるように理学療法士による勉強会を行っています。

職員の腰痛発症リスクを少しでも減らすことで、入居者様にとっても馴染みの職員が長く関われ、生活の向上に繋がれると思います。(渡邊)



利用者様に楽しんでいただける取り組みを

〈特別養護老人ホーム 第二さわらび荘〉

新型コロナウイルス感染症の流行に伴い様々な行事や面会を制限せざるを得ない中、少しでも利用者の皆様に楽しんでいただきたいと職員は日々取り組みを考えています。今回二階フロアにおきまして、クリスマスが近いこともあり明るいイルミネーションの飾りつけを実施いたしました。職員が体操などの声掛けをしても拒否をされる利用者様が、自らの意思で「きれいなものを見に行く」と車いすに移られ、イルミネーションを見ながら体操をしてくださるなど、利用者様にはとても好評です。今後も、利用者様の様子が喜んでくださり、それが職員モチベーション向上に繋がるような取り組みを行ってまいります。(東郡)



年末行事

〈障害者支援施設 あかね荘〉

十二月二十三日、年末行事を行いました。今回も新型コロナウイルス感染症のため感染症予防に細心の注意を払い、Zoomを使用し、密にならないよう荘内の数か所に分かれ実施しました。

メインイベントとして、体操教室を行っていたらいてる鈴木先生にお越しいただき、クリスマスソングを中心に音楽のせ全身を動かし、大いに盛り上がりを見せました。また利用者の皆様で協力し、画用紙に紙を貼り付けてクリスマスツリーを作成しました。

体操終了後は、Zoomにて若菜荘の自治会と交流し、クリスマスプレゼントとしてコーヒーをいただいたお礼をしました。

最後にプレゼントしていただいたコーヒーと、デザート味のクリスマススムードを満喫しました。短い時間でしたが、皆様楽しい時間を過ごすことができましたよ。(庵原)



芦原校区にて地域ケア会議を開催!

〈福祉村地域包括支援センター〉

十二月八日、同校区の民生児童委員・市役所・介護事業所などの方々に地域代表としてご参加いただきました。勉強会として「介護保険申請」について学んでいただき、次に見守りマップを通して情報交換を実施しました。一人暮らしで生活が心配な高齢者の方が抱えている問題点や気になる情報などを相互に知る良い機会となりました。

参加者の方から、「民生委員の方が細やかに関わっていることを知る機会になりました。」「地域の力が大事だと実感でき、こういった会議の継続が必要だと思った。」などの感想をいただきました。今後も芦原校区の地域力に繋がるように、又、二人でも安心して暮らせる地域づくりを目指していきます。(村井)

クリスマス会を行いました

～福祉村保育園～

十二月二十一日にクリスマス会をしました。明日香のシフォンケーキにクリームを絞り、口の周りにつけながら美味しくそうに頬張っていました。サンタさんの登場に驚きながらも、一人一人プレゼントを受けとり、にこにこ笑顔の子どもたち。サンタさんと一緒に踊ったり、楽しい時間を過ごしました。

(柳)

～福祉村病院介護医療院～

十二月二十二日、少し早いクリスマス会を行いました。デイルームに飾り付けをし、入所者様には、サンタの帽子やトナカイのカチューシャを付けて参加していただきました。

創造大学からいただいたハンドベルのDVDを鑑賞し、クリスマスソングを歌い、最後におやつプリンを食べ、笑顔あふれる楽しい時間を過ごしていただきました。

(西潟)

～軽費老人ホーム 若菜荘～

十二月十六日に若菜荘自治会の方がサンタクロースに扮して福祉村保育園を訪れ、園児の皆さんに明日香のクッキーをプレゼントしました。

(白石)



～福祉村障害福祉サービス事業所 しらがね～

十二月二十二日にクリスマス会を行いました。暗幕で室内を暗くし、イルミネーションを楽しみました。利

～障害者支援施設 珠藻荘～

用者の皆様にはサンタさんからのプレゼントを受け取っていただきました。喫茶の時間にはクリスマスケーキをイメージしたおやつを食べていただきました。

(宮下)

～障害者福祉事業所 明日香～

十二月二十二日クリスマス忘年会を行いました。感染症対策として午前に女性、午後に男性と利用者様に分かれていただき珠藻荘の職員による音楽会に参加されました。今回、女性利用者様は化粧をされドレスを着用して参加されました。利用者の皆様、「たまもサンタさん」によるプレゼントをいただき、とても喜ばれていました。今後も利用者様に楽しんでいただけるよう行事を考えていきたいと思えます。

(岩水)

～障害福祉事業所 明日香～

十二月十八日にクリスマス会を行いました。歌や踊り、スライドショーを見て、最後にはプレゼントをもらい

～障害福祉サービス事業所 すみれ～

ました。感染症対策をしっかりと行い、短い時間ではありましたが、久しぶりの行事でもあり、皆様楽しまれた様子でした。

(安田)



十二月二十二日と二十四日にクリスマス会を行いました。カップケーキにそれぞれデコレーションをしてオリジナルのクリスマスケーキを作り、喫茶の時間にクリスマスソングを聞きながら食べました。

(朝倉)

だれでも旅人 たびびと

〜豊川稲荷〔妙嚴寺〕へ行ってきた③〜

〔福祉村病院 理学療法士 川村基樹〕



〔豊川いなり表参道〕

江戸時代後期頃、当時はまだ商店街のようなものではなく、参拝客が増えるにつれ、酒店、料理店、宿泊施設が現れてきました。次第に一般客向けのお土産店も増えていきました。

明治時代の鉄道の発展により、それまで遠方の参拝者は宿泊せざるを得ない状況でしたが、日帰りも可能となり、さらに発展しました。

現在の表参道には、名物のいなり、鰻屋、お土産屋など様々なお店が並んでいます。通りは道幅が十分にあり、車いす利用者でも移動は可能です。通りからお店に入る際にも概ね目立った段差はなく、入りやすい印象です。



表参道入り口



通りが広く平らな様子

お土産に、門前そば山彦さんで「いなほ稲荷寿司」を買いましたが、通りに沿った所で注文ができませんでした。

Vol. 167
relay column

さわらび会
のわ

障害者支援施設 あかね荘
生活支援員

坂上 道明



最近では年齢とともにできなくなることが多くて、今まで意識することなく過ごしていた毎日のことに、できなくなってきたからそのあたりがたさに気づくということが増えました。自分の体のこともそうですが、「口ナ」の制約がある生活から以前の生活を振り返ってみたり、三年前には両親が続けて他界してから生前の自分の接し方を後悔してみたり、何事もないことが幸せだったみたいに考えること自体が年を取った証拠かとも思っています。

あかね荘でも利用者様も職員も年齢層が上がってきていると感じます。先日、福祉のサービュ提供についての研修を受けさせていただきましたが、自分が担当している体を動かしたくない利用者様や、歩けなくなつてもいいとご自分で行われる利用者様のことを思い出していました。今あつても気が付いていないものに今の幸せがあることについて、どういふ言葉で考えたり話せばいいのか、ふとそんなことを考えました。この春には離れた土地にいる娘が大学を卒業して帰ってくる予定です。私の両親は孫を大変かわいがっていたため、幼い娘と両親と一緒に写っている写真がたくさん残っています。娘が帰ってきたら何冊もあるアルバムを一緒に見してみようと思いました。

私はインドネシア出身のファティマです。インドネシアでは三年間くらい看護師として働いた経験があります。現在は、EPA（経済連携協定）看護師として福祉村病院に勤務しております。

今回、私の生まれ育ったインドネシアの西ジャワにあるスバンを紹介させていただきます。私の町は小さい町ですが、有名です。特に果物と祭りが有名で、果物ではパイナップルとランブータンは人気があります。

スバンのパイナップルには色々な種類があり、苦い味のものや甘い味のものもあります。パイナップルのケーキやDodol（ドドル）という食品が作られます。ドドルは餅のような見た目ですが、ドドルの方がもっと硬くて甘いです。

ランブータンは、皮に毛がたくさんあって白くて甘い果物で、旬は雨期になります。

スバンでは「singaan（シンガン）」という祭りがあります。シンガにはライオンの意味があります。昔、この祭りは、安全のシンボルと感謝の気持ちとして行われ

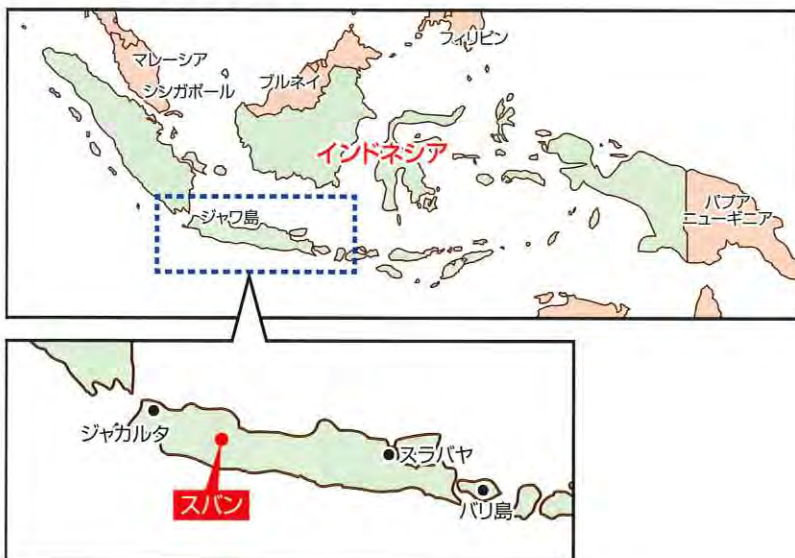
私のプロフィール

福祉村病院 看護師
ファティマトウス・サディア

出身 ● インドネシア西ジャワ島
学歴 ● NURSING ACADEMY
OF SUBANG
資格 ● 看護師



インドネシア ジャワ州周辺の主要都市



ました。ライオンの大きな人形に乗って祝いをする男の子のためのお祭りですが、女の子も乗ることができます。子供をライオンの上に乗せて下から四人の男性が肩で担ぎます。そして、歌を歌ったり、ダンスをしたり一緒に村を回ります。小さい頃にはあまり乗れませんでした。一緒に見て楽しむことができました。現在、この祭りはお祝いのためだけではなく、観光客を歓迎するイベントとしても行われます。

是非、機会があればインドネシアのスバンへ旅に行ってみてください。



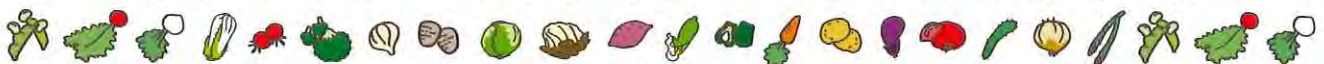
第93回 さわらびキッチン 栄養士のつぶやき

福祉村老人保健施設シユゲーム
管理栄養士 大橋希依子

一月は立春があり冬の終わりを感ず始める時期です。みなさんは冬に美味しい食べ物は堪能されましたか。白菜や大根、人参などの野菜、たら、カニ、牡蠣などの海鮮、みかんやいちごなどの果物とたくさんありますが「牛乳」を思い浮かべた方はいらっしゃるでしょうか。実は牛乳は冬に美味しい食べ物のひとつです。

牛乳は好みにもありますが乳脂肪が多いと濃く美味しいと感じます。冬はこの乳脂肪が多くなるからです。牛は暑さに弱いため夏は水分を多く摂るが餌を食べる量が少なく、冬は食べる量が増えるため季節によって変動します。北海道などの寒い地域の牛乳が美味しいと言われるのも同じ理由です。

夏のものとは比べることが難しいのはつきりとはわからないかもしれませんがぜひ意識して飲んでみてくださいね。また、牛乳は冬野菜とも相性がいいのでかぶや白菜のクリーム煮にしたり、寒天やゼラチン、コーンスターチなどで固めてスイーツにしても美味しいです。ぜひ寒い時期の牛乳の美味しさを感じてください。



◆病院シフト

12月8日 豊橋技術科学大学にて学生・教職員の健康管理 健康相談を斎藤友紀 子医師が行った

9日 シュゲム幹部会

14日 病院幹部会 理事長 ゆかり 副理事長 参加

15日 早蕨編集会議

20日 衛生委員会

22日 豊橋技術科学大学にて学生・教職員の健康管理 健康相談を斎藤友紀 子医師が行った

27日 感染対策委員会

27日 医療安全委員会

27日 CPOC(理事長参加)

27日 施設看護師会(同席)

27日 経営企画会議(理事長 ゆかり 副理事長 参加)

27日 仕事始め

1月4日 理事長 ゆかり 副理事長 山本左近(2020)・小橋修院長(谷谷ゆり 副理事長)年頭の挨拶

◆さわらび白球常盤

12月6日 日本認知症グループホーム協会「三重大会」(打合せ)(施設長) Web

12月6日 サララ相談窓口(伴)エムキャンパス

7日 虐待研修(高柳 石黒) Web

7日 愛知県認知症グループホーム連絡協議会東三河ブロック会議(施設長・渡邊恵) Web

8日 職種別主任ケアマネ会議(白井秀(つ)しげ丘地域福祉センター 石巻民生定例会(白井秀 福井)つしげ丘地域福祉センター)

8日 サララ相談窓口(松下)エムキャンパス

9日 愛知県居宅介護支援事業者連絡協議会運営委員会(白井秀)名古屋

9日 認知症介護基礎研修(野口 橋本) Web

13日 西郷校区老人会体力測定結果説明会(松下 森山 石黒 福井) 西川芸 能楽道場

15日 サララ相談窓口(長神)エムキャンパス

15日 包括管理者研修(松下) Web

16日 ケアマネ茶話会(白井秀 長神 福井)つしげ丘地域福祉センター 保健師会(松下) Web

17日 愛知県社会福祉協議会福祉人材センター「福祉関係職員基礎研修」(録音) (施設長)名古屋

20日 認知症介護リーダー研修(宮崎)城内 上坂 西村(名古屋)21日 東三河広域連合「社会福祉施設指導員」本部及びさわらび(社)さわらび(社)

22日 生活介護支援サポーター養成講座修了式(施設長 松下 松井 森山 石黒)あひトピア

◆さわらび荘・カサデローザ・カサデヴェルデ・カサブランカ・天伯・フジ

12月6日 日本認知症グループホーム協会「三重大会」(打合せ)(施設長) Web

12月6日 グループホームフジちくちくハンド

7日 愛知県認知症グループホーム連絡協議会東三河ブロック会議(山本 施設長) Web

9日 全国老人福祉施設協議会トップセミナー(山本理事長 山本施設長 東京 愛知県社会福祉協議会地域共生社会推進セミナー(山本施設長) Web

10日 グループホームフジ誕生会・クリスマス会

13日 日本福祉大学「福祉現場と専門職養成をつなぐフォーラム愛知」幹事会(山本施設長) Web

16日 カサデローザ自治会

16日 天伯誕生会・クリスマス会

16日 第一さわらび荘誕生会

16日 第二さわらび荘クリスマス会

16日 カサブランカ誕生会・クリスマス会

16日 カサデヴェルデ誕生会・クリスマス会

◆シャトーローズ八町

12月6日 豊橋創造大学看護学生受入(在宅看護学)11月29日~12月2日

12日 介護技術研修

◆珠藻荘

12月7日 情報交換会(鳥居) Web

8日 交通安全功労者等表彰式(山田)

10日 バストライプ外出(利用者)赤羽根ロコステーション

15日 虐待防止に向けた事業所訪問(鳥居) Web

15日 火災想定避難訓練

15日 サービス評価委員会

15日 虐待防止委員会

15日 自立支援協議会運営会議(鳥居)あひトピア

16日 口腔ケア指導

16日 利用者支援全体会議

16日 生活向上委員会

16日 地域移行推進委員会

16日 愛知県社会福祉協議会心身ホーム部会研修(施設長)

17日 虐待防止に向けた事業所訪問(鳥居) Web

17日 虐待防止に向けた事業所訪問(鳥居)

17日 医療的ケア児等コーディネーターフォローアップ研修(鳥居)名古屋

22日 リスクマネジメント・感染症委員会

22日 理美容(女性)

22日 愛知県生活向上委員会(宮本 片山) Web

23日 日本福祉大学実習生受入れ(1名)

23日 クリスマス忘年会

23日 日本福祉大学実習生受入れ(1名)

23日 大規模災害検討委員会(鳥居)あひトピア

23日 障害基礎講座(山口) Web

23日 習字クラブ

23日 習字クラブ

23日 採用面接(山本ゆかり専務理事)

23日 習字クラブ

23日 習字クラブ

23日 採用面接(山本ゆかり専務理事)

23日 習字クラブ

◆若菜荘

12月6日 若菜会役員会

7日 クリスマスツリー飾りつけ

7日 映画鑑賞会

9日 地域活動日(神社清掃)

◆あかね荘

12月8日 あかねホーム会議

9日 自治会・誕生日会

9日 経営会議

11日 アクテイ班会議

◆フェリス福祉社

7日 習字クラブ

8日 採用面接(山本ゆかり専務理事)

14日 習字クラブ

15日 誕生会

◆クリスマス

22日 採用面接(山本ゆかり専務理事)

22日 クリスマス会

24日 年頭のあいさつ

1月4日 習字クラブ

◆明日香

12月7日 陶芸教室

14日 明日香ホーム支援会議

15日 自治会

15日 工賃支給日

20日 愛知県社協セルフ部会研修 末松施設長 Web

20日 強度行動障害研修(濱野)浜松 22日

22日 東二七ルン施設長会議(施設長 副施設長) Web

24日 防災訓練

24日 ケース会議

24日 陶芸教室

12月9日 すみれホーム

12月9日 すみれホーム支援会議

18日 家族会

26日 出張美容室

12月6日 心息手当番及員再講習(施設長 木下)中消防署

12月6日 クリスマス会

1月5日 書初め

12月16日 書道クラブ開始

12月16日 おやつ作り

12月16日 就業体験(17日)

12月16日 おやつ作り

24日 おやつ作り

24日 おやつ作り

12月8日 各施設共通

12月8日 のびるんdeスクール担当者会議

9日 高齢福祉部会議

10日 在宅医療福祉部会議 Web

13日 会計全体指導

13日 災害時受入体制整備整備会 Web

13日 法人緊急連絡網改善検討 Web

13日 障害福祉部会 Web

◆各施設共通

12月8日 大規模災害受入体制整備整備会

10日 さわらび会防会議

14日 要配慮者受入協定避難訓練

15日 生産性向上プロジェクト事例発表 Web

◆クリスマス

12月15日 補正予算理長説明

16日 のびるんdeスクール牛川小学校

16日 障害者担当者会議 Web

17日 コロナワクチン集団接種

◆さわらびグループ経営企画会議

28日 法人研修(アンガーマネジメント)

28日 仕事始め・新年の挨拶 Web

28日 仕事始め・新年の挨拶 Web

28日 仕事始め・新年の挨拶 Web

さわらび会後援会寄附で芳名

令和3年12月6日～令和4年1月5日

豊橋市東脇三丁目1-17	森田由利子氏	10,000円
豊橋市野依町字西物草12	家具の街ヨコモクランド	20,000円
豊橋市小池町36-1	共和印刷(株)	5,000円
豊橋市入舟町21	(株)三恵薬品	10,000円
豊橋市駅前大通一丁目55 サーラタワー	サーラエナジー株式会社	10,000円
豊橋市野依町字山中19-14	福祉村病院職員有志	1,000円
豊橋市東雲町	梅村敏夫氏	14,000円
	匿名氏	3,000円
	匿名氏	1,000円

たくさんのご寄付ありがとうございました。
計 **74,000円**
現在までにご寄附いただきました金額は
895,654,661円

●福祉用具紹介のコーナー

インタースロープ

小さな段差によるつまずき防止や、車いす走行時の負担を軽減するための低段差スロープ。耐久性の高い特殊なエラストマー素材により、屋内から屋外まで広範囲に使用できます。

(あかね荘障害者生活支援センター 曾田)

対象者 小さな段差でつまずきを防止したい人、車いすの人



販売価格：サイズによって価格が異なります。事業所にお問い合わせください。
※介護保険でのレンタルが可能です。サイズによって価格が異なります。
レンタル料は事業所によって価格が異なりますのでお問い合わせください。

問い合わせ先 福祉サービス株式会社 ☎(0532)66-1011

スタンプラリー～始めました～ ～地域密着型サービス事業所常盤～

冬場、身体を動かすきっかけ作りにと昨年12月20日から「青空ひろばスタンプラリー」を開催中です。チェックポイントは、以下の3ヶ所です。

- 1 豊橋市中央地域包括支援センター
- 2 アイセイ薬局 東田店
- 3 常盤

スタンプをすべて集めると、脳トレプリントなど参加賞がもらえます!
(日和田)

青空ひろばスタンプラリー

～スタンプを集めて、暮らしに役立つプレゼントを手に入れよう!～

<p>地域密着型サービス事業所 常盤</p> <p>スタンプを押してください</p> <p>豊橋市宮下町1-1 ☎62-3370 営業日時：月～金曜 9時～16時</p>	<p>豊橋市中央 地域包括支援センター</p> <p>スタンプを押してください</p> <p>豊橋市前畑町115 総合福祉センター「あひトピア」内 ☎54-7170 営業日時：月～金曜 9時～17時</p>	<p>アイセイ薬局 東田店</p> <p>スタンプを押してください</p> <p>豊橋市岩田町字道合83-1 ☎69-5051 営業日時：月～水 9時～18時 木曜 8時45分～16時45分 土曜 8時45分～12時45分</p>
--	---	---

ありがとうございました ～福祉村病院～

豊橋創造大学の学生さんより、「sozo音楽隊からの贈り物」と題してハンドベル、ダンス、合唱が録画されたDVDを送っていただきました。病棟で鑑賞後、1階ロビーでも投影させていただきました。(川村)



＊お礼コーナー ありがとうございました＊

※豊橋善意銀行を通して

▼愛知県地域婦人団体連絡協議会 会長 山田久子様
液体せっけん寄贈(あかね荘・珠藻荘)

▼株式会社 物語コーポレーション様※
マスク寄贈(若菜荘・明日香・すみれホーム)

▼東味噌醤油工業共同組合様※
レトルト食品寄贈(若菜荘・明日香・すみれホーム)

火災想定での避難訓練を 実施しました

～障害者支援施設 珠藻荘～



イーバックチェア使用時

12月15日、珠藻荘にて火災想定での避難訓練を実施いたしました。

当日は厨房より出火を想定し利用者様48名、通所利用者様1名の方々を各フロアごとの避難場所へ誘導を行いました。

災害に備え厨房の職員は改めて火器の取り扱いを再認識し、そして火災発生時に各階の排煙場所(煙を外に出す窓)の位置と開閉方法、さらに発電機の使用方法についての再確認を行いました。



排煙窓の開閉

火災・地震などエレベーターが使用できないような災害時・非常時に利用者様が上層階から階段を使用し安全・円滑・迅速に避難するイーバックチェアの使用方法も再確認しました。

珠藻荘では災害時などに備え、いざという時に使用できるように職員によるイーバックチェアの研修を年に1～2回定期的に行っており、利用者様に安全・安心して楽しく過ごしていただけるように今後も災害対策に力を入れて取り組んでいきたいと思っております。

(岩水)

- 福祉村病院 ☎(0532)46-7511
- 福祉村老人保健施設 ジュゲム ☎(0532)46-7501
- 特別養護老人ホーム さわらび荘 ☎(0532)54-3501
法人本部 豊橋市浪ノ上町7-2
- グループホーム 白珠 ☎(0532)66-0082
- 地域密着型サービス事業所 常盤 ☎(0532)62-3370
- 特別養護老人ホーム 第二さわらび荘 ケアハウス カサ デ ローザ ☎(0532)37-1209
- 特別養護老人ホーム カサ ブランカ ☎(0532)69-1701
- 地域密着型サービス事業所 カサ デ ヴェルデ ☎(0532)23-5552
- 特別養護老人ホーム 天伯 ☎(0532)48-1113
- グループホーム フジ ☎(0532)54-5477
- 軽費老人ホーム 若菜荘 ☎(0532)48-1138
- 障害者支援施設 珠藻荘 ☎(0532)47-1050
- 障害者支援施設 あかね荘 ☎(0532)48-2825
- 障害福祉サービス事業所 明日香 ☎(0532)46-6579
- 福祉村障害福祉サービス事業所 しろがね ☎(0532)48-1032
- あかね荘 障害者生活支援センター ☎(0532)38-9090
- サービス付き高齢者向け住宅 シャトルーズ八町 ☎(0532)52-0005
- 介護付き有料老人ホーム フェリス福祉村 ☎(0532)47-2202
- 障害福祉サービス事業所 すみれ ☎(0532)38-5077
- 共同生活援助事業所 すみれホーム ☎(0532)29-8180



医療法人・社会福祉法人
さわらび会
理事長 山本孝之

編集後記

昨年とは波のような一年でしたが今年には更に大きな波に翻弄されています。強い感染力を持つオミクロン株による感染者数の爆発的な増加で日本ではデルタ株流行時より急速に医療逼迫が起きました。それでも二月四日から中国北京で冬季五輪が開催予定です。東京パラリンピックで選手用医療従事時の感染症に対する緊張が甦りました。関係者皆様のご健康をお祈りしています。一月十五日トングで大規模な火山噴火が発生し世界各地で津波が発生。津波の被害に遭われた方々にお見舞い申し上げます。津波の原因は「大気波動」による気圧の上昇の可能性が指摘されました。静岡県磐田南高校地学部が気象観測システムでも気圧の変動が観測され静岡大学へ気象データが提供されました。気象観測は昭和二十四年の創部以来毎日行われ七十年以上の記録を保有とのこと。継続することの重要性を改めて感じました。さわらび会も今年六十周年を迎えます。これからも地域へ貢献できる組織でありたいと思っております。